

2021年3月24日

中国・赤色蛍光体特許に関する米国 Intematix 社ほか2社との特許侵害訴訟について
～最終審の判決で三菱ケミカルの勝訴が確定～

三菱ケミカル株式会社

三菱ケミカル株式会社（本社：東京都千代田区、社長：和賀昌之、以下「当社」）は、当社と国立研究開発法人物質・材料研究機構（以下「NIMS」）が共有する赤色蛍光体の中国特許（特許第 ZL201110066517.7 号（以下「本特許^{*1}」））に関する米国 Intematix Corporation、その中国関連会社の英特美光电（蘇州）有限公司、およびその販売店の深圳（セン）格亮光電有限公司（英語名 GrandLux Optoelectronics Co.,Ltd）（以下「Intematix 社等」）との侵害訴訟第二審（最終審）において、第一審に引き続き当社が勝訴し、当社の全面勝訴が確定したことをお知らせいたします。

当社は、Intematix 社等に対し、本特許を侵害しているとして中国における蛍光体製品の生産および販売等の侵害行為の差止めと損害賠償を求める訴訟を 2015 年 1 月に深圳（セン）市中級人民法院に提起し、2019 年 7 月に同法院により Intematix 社製蛍光体製品の中国における製造、販売等の侵害行為の差止めと当社への 200 万元（約 3200 万円）の損害賠償金の支払いを命じる判決を得ました^{*2}。Intematix 社等は、この判決を不服とし同年 8 月に最高人民法院に当社を上訴していましたが、2021 年 2 月に同法院は Intematix 社等の主張を全面的に退け、Intematix 社等の本特許侵害を認める最終判決を下し、当社の勝訴が確定しました。

当社は、中国における当社の知的財産権を保護すべく、これまで当社の知的財産権を侵害した Intematix 社等と、煙台希爾德新材料有限公司^{*3}（以下「Shield 社」）に対して侵害訴訟および行政訴訟を提起して対処して参りましたが、今回の Intematix 社等らとの侵害訴訟第二審判決をもって、約 6 年間に亘り繰り広げられた中国訴訟は全て終了することになります。

中国は LED パッケージの最大の生産国であり、赤色蛍光体の主用途である白色 LED デバイスの最大生産量を誇ることから、その中国において当社が Intematix 社等、Shield 社との侵害訴訟および行政訴訟の両方で勝訴できたことは、長年積極的に投資、事業展開を行い、知的財産権を積極的に活用してきた当社にとって大変意義深いものとなりました。また、当社の中国訴訟での勝訴は蛍光体産業のみならず白色 LED 産業全体においても重要な意味を持ち、今後の両産業の健全な発展と秩序維持に繋がるものと考えております。

今後も当社は自社及び他社の知的財産権を尊重し、他社が当社知的財産権を侵害するようなことがあれば、当社としてはこれを看過することなく適正な対応を取る所存です。

以上

- ※1 ・本特許は、通称 SCASN 又は 1113 蛍光体と呼ばれる窒化物系の赤色蛍光体とそれを用いた LED デバイス等を広くカバーする基本特許であり、中国のほか、日本、米国、韓国、台湾、独国で登録され、各国で対応特許が成立しています。また MCC は、本特許以外にも CASN、SCASN 蛍光体又は 1113 蛍光体に関する多数の関連特許を保有しています。
- ・本特許に関する赤色蛍光体を用いた LED デバイスについては、本特許の共有権利者である NIMS より実施許諾を受ける必要があります。

- ※2 当社プレスリリース（2019 年 8 月 29 日）

https://www.m-chemical.co.jp/news/2019/1207228_7467.html

- ※3 当社プレスリリース（2021 年 1 月 26 日）

<https://www.m-chemical.co.jp/news/2021/icsFiles/afieldfile/2021/01/27/patentjp.pdf>

本件に関するお問合せ先 (株) 三菱ケミカルホールディングス 広報・IR 室 電話: 03-6748-7140
